

特集 コーザンはいつもよいきせつ>08ふゆ

冬こそ楽しい！コーザン遊び！



ふおれすと鉞山の事業
ふおれすと鉞山・冬の新企画登場！

リレーコラム カマンベツに呼ばれて
千葉利行（登別市教育委員会）

スタッフルーム
MJ days お茶しませんか？／ふおれぼらこら／
エンドのひるね／受付嬢は見た！

KOUZAN EVENTS
この冬もイベントがいっぱい！

photo: 松原 條一

25 Jan. 2009

鉞山録
こうざんろく
登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉞山」ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織「モモンガくらぶ」
〒059-0021 登別市鉞山町8-3 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉞山
TEL/ 0143-85-2569 FAX/ 0143-81-5808
E-mail: kouzan@npo-momonga.org URL: <http://npo-momonga.org/>

冬こそ楽しい！ コーザン遊び！

町よりも100mほど高いところにあるふおれすと鉱山。実はこのわずか100mの標高差とこの地形が、町とはかなり違った気候を生み出している。そう、冬は町より雪が多いし、気温も低いのだ。ふおれすと鉱山は冬でも開館中。道路もすっかり除雪が入るからいつでも遊びに来ることが出来るぞ。町ではできないたっぷりの雪遊びと氷遊びを楽しみに、冬の鉱山へ行ってみよう！

■白銀のゲレンデへ！ ～ソリ遊び～

グラウンドの築山は、絶好のソリゲレンデ！ゆるい斜面も、急斜面もあるから、みんなで楽しめるぞ。もっとスリルを味わいたければ、森の中へ。木々の間を縫って滑るにはテクニックが必要だけど、興奮度は200%！大人たちも、たまには童心に返って楽しんでみよう。
(実際、親子連れで最後まで遊んでいるのはお父さん…ってことが多いのだ)

■冬の夜こそ、外に出よう

～夜のお散歩、スノーランタン、雪上キャンプ～

冬の夜に外に出るなんて・・・とってしまいがちだけど、雪の積もった夜こそ外に出て欲しい。晴れた夜は空気が澄んでいて星がきれいだし、月夜なら雪がその光を反射して幻想的な美しさを味わえる。雪で作ったスノーランタンにろうそくを入れて火を灯すのもきれいだ。ふおれすと鉱山では、雪の上にテントを張っての雪上キャンプにも毎年挑戦しているぞ。

■滑って、転んで、氷のリンク ～つるつる広場～

毎年恒例、グラウンドに出現する「つるつる広場」では、ヘルメットを装着してながつホッケーが楽しめるぞ。大人がやってもエキサイティングな遊びだ。ヘルメットやホッケーの道具は貸出ししているので、お気軽にスタッフまで。お腹やソリで滑って遊ぶだけでも楽しいぞ。

■雪の中に飛び出そう！

～雪遊び、焚き火～

何よりひとまず、雪の中へと飛び出そう。雪合戦、雪だるま、かまくら作り・・・ただただ寝転がってみるのも楽しいぞ。寒くなったら熱いお茶でも飲みながら、焚き火にあたって暖まろう。真冬の焚き火は、暖かさが一味違うぞ。

■森の奥へでかけよう

～歩くスキー、かんじき～

鉱山町は林道が整備されているので、歩くスキーに最適なコースがたくさんある。冬にしか見られない絶景ポイントに出会えるぞ。林道から外れた森の中へは、かんじきで。夏には笹が茂って入れないところへも、スイスイ入っていける。人のあまり入らない森の中には、驚くような発見がいっぱいだ。どちらの道具も貸出ししているので、気軽に受付まで。もちろん、鉱山のプログラムに参加すれば、楽しく安全に楽しむことができるぞ。

■生き物の力を感じよう

～アニマルトラッキング、冬芽探し～

雪の上には動物達の痕跡がいっぱい。ウサギ、キツネ、リスなどの足跡や糞を見つける「アニマルトラッキング」で、動物達の厳しい冬の生活を想像してみよう。森の木々は芽吹き準備をして春を待っている。葉っぱが落ちたこの季節は冬芽観察がお勧めだ。ユニークな顔をした冬芽たちをたくさん探してみよう。



ふおれすと鉱山

冬の企画 登場!

この冬、モモンガくらぶ・ふおれすと鉱山では、新しい企画がぞくぞく！一味違う、鉱山の魅力も発見できるかも。参加して、心もほっこりあたたかくなりませんか？

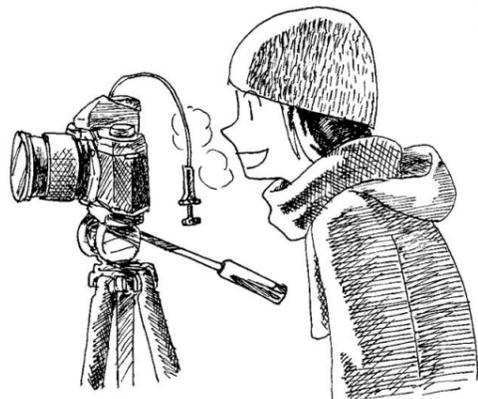
鉱山・大・同窓会

ふおれすと鉱山のある鉱山町は、かつて鉱山の町で賑わっていました。ふおれすと鉱山は、その時代の小中学校跡地にあります。今までも、「なつかしいわあ〜」「ここは変わらないわねえ」と緑のあるみなさんに訪れていただいていた。そこで、幌別鉱山がはじまり101年を記念して、『鉱山・大・同窓会』を実施したいと思います。鉱山町に住んでいた方、鉱山で働いていた方、かつての鉱山小中学校に通っていた方など鉱山町にゆかりのある方々ならどなたでも。鉱山の昔話に花を咲かせませんか。開催は、2月〜3月を予定しております！



鉱山の自然を一枚の写真に

ふおれすと鉱山の周りに広がる自然。その時その瞬間にしか見せない表情がそこにあります。そんな自然の表情を探しにふおれすと鉱山で写真撮影会&コンテストを開きます。冬の鉱山の森をかんじきを履いて歩いていき、自分が好きな場所で写真撮影。その撮った写真をふおれすと鉱山に飾るイベントです。カメラ好きの方や自然好きの方など、どんな人でも参加自由。1月〜2月に開催予定です。ぜひ楽しみにしてください。



みんなで創る、森とまちをつなぐ拠点・つながりづくりプロジェクトの始動

(国土緑化推進機構助成事業・モモンガくらぶ主催)

この冬、里山づくりがさらに進展していきます！森の入口にある、ふおれすと鉱山では、自然あそびや環境学習、里山づくりなどの活動を行っていますが、この遊ばせてもらっている森のことを専門的にもっとよく知るための調査活動が開始されます。この調査結果などをもとに…新たな展開がまっているよ！来春には、森とまちがつながる新しい取り組みがはじまる予定です!!



ふおれすと鉾山との関わりについて

私とふおれすと鉾山の関わりにつきましても、私が教育委員会に異動してきた年度にふおれすと鉾山がオープンしたと記憶しております。その時は、市が直営で管理運営を行い、同施設の設定目的であります、人と自然のふれあいを通して市民の自然に対する意識の高揚、更には、自然環境学習・野外体験学習等を推進し、子ども達の豊かな心や生きる力を育むというフレーズで立ち上げたかと思えます。

その後、私も、直接ふおれすと鉾山と強い関わりをもつ社会教育グループに異動し、ふおれすと鉾山が大きな転換期を迎える指定管理者制度の導入に伴いまして、奮闘してまいりましたが、如何せん、私自身が自然を相手にすることが大の苦手であるため、どのような手法を用いて取り組んでいったらよいのか、皆目見当が付かない状況にあったのを覚えております。

しかし、そのような状況の中で出会ったのが、現在指定管理者となっている「NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ」のスタッフの面々との出会いで、これまでも自然との接触が苦手な私に手取り足取りまでいかないまでも、四季を通じてどのようにして自然とかかわり、楽しむかということをお教えいただきまして、今では、何とか自然と接することのできる人間として少し成長した感があります。そのお陰で、ふおれすと鉾山の指定管理者制度導入を行う際には、モモンガくらぶが事業提案してきた内容にも、それなりの理解が出来、スムーズに事務を運べたことを記憶しております。

それにいたしましても、ふおれすと鉾山が、短期間において大きく市民に知れわたり、そして愛され、利用者が伸びていることは、モモンガくらぶとその取り巻くボランティアの皆さん方のたゆみない努力と存在が大きいものであると言っても過言ではないかなと思っている一人であります。

これからも、ますますスタッフ一丸となって切磋琢磨し、ふおれすと鉾山イコールモモンガくらぶの存在を北海道は勿論のこと、全国的に発信をしていただき、大きく育ててほしいものと願っております。

終わりになりますが、行政が掲げております「市民との協働のまちづくり」をモットーに、人と自然、人の輪（和）を広げるとともに、これからの時代にあったふおれすと鉾山の活動を再度、確かめ合い、協働のまちづくりの一端に繋げていただければ幸いです。

what's 協働で実現する森づくり (チカタビレンジャー)

登別市教育委員会と後志森林管理署では、国有林の一部を『遊々の森』に定めています。『遊々の森』では、植樹・下刈りなどの体験林業や野生動物の観察など、子どもたちがさまざまな体験活動や学習活動を行うことができます。

今後、鉾山町にある2ヶ所の『遊々の森』を活用し、ふおれすと鉾山で里山づくりをしている「チカタビレンジャー」の活動を拡大していこうと考えています。



text：千葉利行
登別市教育委員会
社会教育グループ
総括主幹

五服目 忘れられない味…

今年も威勢良く「ペッタン、ペンタン」が始まりました。

昔懐かしい杵と臼が大活躍です。今時はいつでも餅が売っているご時世ですが、ここふおれすと鉱山では12月の恒例として、子どもたちが不釣り合いな大きな杵で餅をついています。

餅米をふかす石炭ストーブの上で白い湯気が立ちこめ、いい香りがします。長屋での餅つきは12月暮れになるとあちらこちらで始まり、お隣さんと共同で餅つきをします。大人が力強く杵を打ち下ろす姿は今でも印象深く残っています。あの頃、餅つきは一年に一回の「特別な日」でした。つきあがった餅は女性たちの手で器用に餅を丸めてあんこ餅、平たくのぼして板餅、豆を混ぜた豆餅、そしてお供え用餅などなど、次々に出来上がっていきます。時々、つまみ食いを見せてもらってご満悦だったことを記憶しており、一年ぶりの感触と味は今でも忘れられません。

いま、ふおれすと鉱山で子どもたちやお母さんたちが笑顔で餅つきを楽しんでいる姿を見るにつけ、様変わりに時の流れを感じつつも、これからもみんなで餅つきをイベントとして楽しんでくれるといいなあーと思います。

2008年12月 MJ

鉱山の流れ星は降る

text: 荒木 沙羅

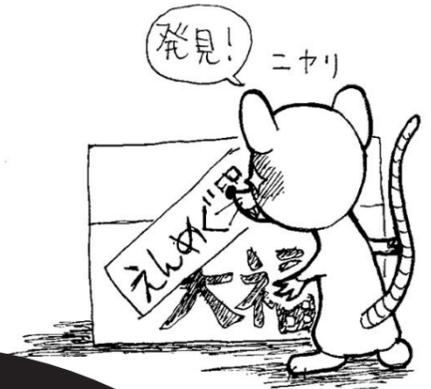
地元の高校に通う現役女子高生の“さらぼー”。木工クラフトや絵画などに秀でた芸術センスを持っており、ひげ工房や展示づくりでその才能を発揮している。

私が鉱山に通うようになったのは今年2008年の3月、丸太の皮むきのイベントに参加したことがきっかけでした。(実はそのとき、私はそのイベントを「樺細工」をするものだと思って行ったのですが。)なので、豪快に丸太と格闘している光景を目の当たりにし、内心びびりました。でも取り敢えずやろうと現場に行ってみるとそこには、私にとって魅力的と言える刃物道具たちが並んでいたのです。ああやっぱり来て良かったんだな…と胸をなで下ろす暇も無く、めちゃくちゃ元気なスタッフさんが私を迎え入れてくれました。また、びびりました。

高校生である私は、ここに通うようになるまであまり年上の方や子供と接する機会も無く、またふおれすと鉱山のような開放的かつ積極的な雰囲気も味わうこともそうありませんでした。今はネイチャーガイド養成講座を受けたりもするようになり、沢山の人たちと触れ合い様々な経験を重ねていくことで、今までよりも現実的に未来を見据え、それを実行していく勇気が湧いてきました。

自分に出来ることはごく一部でしかありませんが、ここに集まる子供たちは頼もしく、またもっと沢山の人たちが関わっていけばそれだけ大きな力が生まれいく。ふおれすと鉱山に出会えたことを幸運に思います。

■スタッフルームへようこそ
ふおれすと鉱山スタッフのお部屋です。ここは普段スタッフが考えていること、感じたことを好きなように表現する場。鉱山で会うのとはちょっと違ったスタッフたちの横顔をお楽しみ下さい。



MJ days

お茶 しませんか?

えんめぐのもの想うコラム

エンドのひるね

ふおれすと鉱山ボランティアのコラム ⑤

受付嬢の絵ごころ

カウンターのうらがわ 4

きのご

かさまん

すき

いづんば かさまん

すき。

夜、事務所で仕事をしていると、背後でカサカサと音が聞こえ、なにか、生き物の気配…?

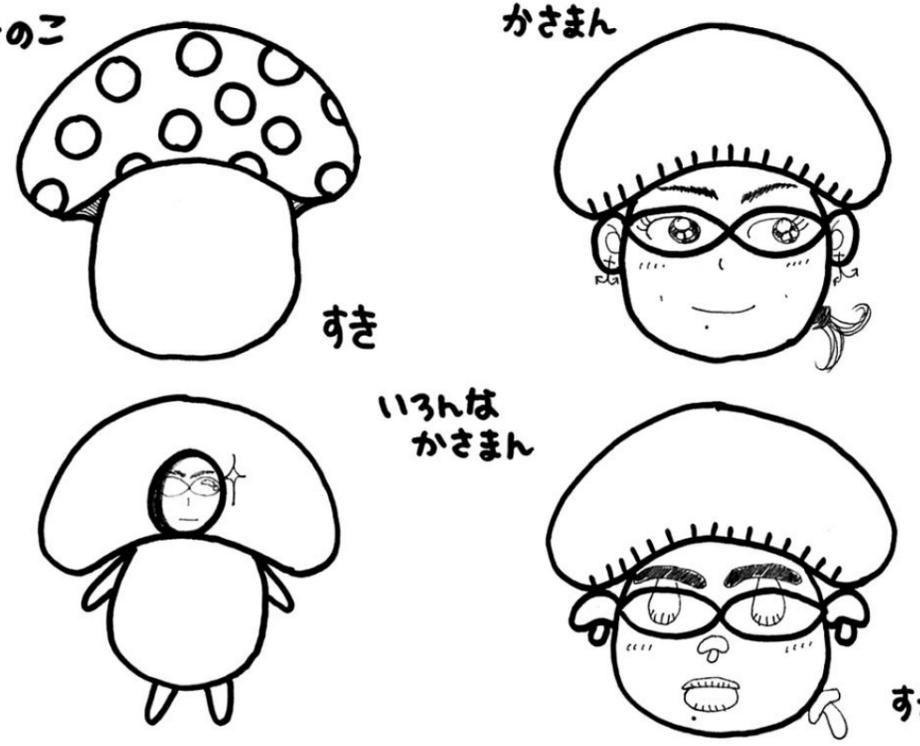
机の後ろ側には、仕事のお道具箱。その中には、お楽しみのお菓子も入っています。

ドキドキでそっと、中のものをはがしてのぞいてみると!いました、いました! ちょっと小さめのアカチュウ(アカネズミ)か姫ちゃん(ヒメネズミ)! くりっとした瞳と目が合ってしまいました。

数年前も、こんなことがありました。夜中に、となりの部屋(当時は事務所が2つにわかれていました)から、がさごそ聞こえるので、スタッフ総出で、網やらざるをもっての捕物帳。1時間苦勞して、つかまえたアカネズミは、ザルオと名づけ、少し手元に置いて、観察してみることにしました。とりにそぎのおうちは、どなたかにいただいたハムスター飼育セット。夜中に、飼育していたとなりの部屋から今度はガラガラガラ〜と大きな音が聞こえます。明かりをぱっとつけて、のぞいてみると、赤い回し車が、勢いよく回っていました。野生動物でも、運動不足解消のため乗ってしまうんだあ…と、妙にショックを受けたことを思い出します。もちろん、このザルオ、私たちより上手で、天井の蓋をかじって逃げ出しましたけど。

いつも、お会いするのはこの時期。雪が降り、森の中においしい食べ物がなくなると、ふおれすと鉱山にも遊びに来るようです。お会いするねずみくんたちで、森の豊作度がわかったらオモシロいですね。今年の森は豊作だったかい?ねずみくんたち。

#5 冬とねずみ text: 遠藤潤



Illustrated by めぐ夫 (佐々木 めぐみ: 受付スタッフ)

1月

〔7日〕利用者会議（学校団体）
 〔8日〕森のサロン
 〔10日、11日、12日〕冬休みスペシャルウィーク
 〔10日〕鉱山大捜査線
 〔11日、28日〕歩くスキー
 〔14日、23日〕鉱山ショート・ショート
 〔15日〕たまにはアウトドアライフ

〔17日〕森の子くらぶ
 〔17日 - 18日〕わんぱくキャンプ・冬（1泊2日）
 〔18日、25日〕森のようちえん
 〔24日〕ながぐつレンジャー
 〔31日〕森からつながる環境保全講座～「枝打ち」
 〔31日〕鉱山流里山づくり「冬山探検の日」

2月

〔1日〕父と子の日
 〔4日〕歩くスキー
 〔5日、24日〕鉱山ショート・ショート
 〔7日、8日〕ボランティア研修会
 〔8日〕冬まつり
 〔10日 - 11日〕森のサロン（1泊2日）
 〔12日〕たまにはアウトドアライフ
 〔14日〕森の子くらぶ

〔14日〕森からつながる環境保全講座～調査会
 〔15日〕森からつながる環境保全講座
 ～「冬芽ハイキング」
 〔15日or 22日〕森のようちえん
 〔17日〕冬のハイキング
 〔18日〕森のちょこっと子育て広場
 〔21日〕ながぐつレンジャー
 〔28日〕鉱山流里山づくり「炭づくりの日」

3月

〔4日〕歩くスキー
 〔6日、18日〕鉱山ショート・ショート
 〔11日〕かんじき
 〔12日〕たまにはアウトドアライフ
 〔14日〕森の子くらぶ
 〔15日、22日〕森のようちえん

〔18日〕森のちょこっと子育て広場
 〔21日〕ながぐつレンジャー
 〔28日〕鉱山流里山づくり「森に感謝の日」
 〔28日 - 31日〕マウント・ワシバツ
 チャレンジキャンプ（3泊4日）

最新情報はこちら！ → <http://npo-momonga.org/>

KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

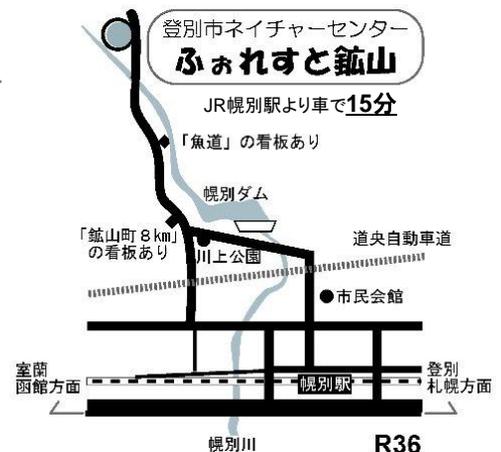
本年は 2009年1月6日(火) からオープンします。

開館9:00～17:30 入館料・無料

休館日：毎週月曜日

（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります）

- ・木工室・森の図書室はご自由に使っていただけます。
 そのほかにも双眼鏡、歩くスキー、マウンテンバイク、調理台などをご利用いただけます。
- ・ふおれすと鉱山は、宿泊型体験施設です。宿泊を希望される方は、下記連絡先へお問い合わせください。
- ・ログハウス〔森のおうち、森トンハウス、ツリーハウス(かぜのいえ)〕のご利用も可能です。その他ご不明な点は、下記連絡先へ。



鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

あけましておめでとうございます。

冬は雪遊びが楽しい季節なので、雪は大いに降ってくれた方がうれしいのですが、... 除雪の大変さに頭が悩まされますよね。ちなみに、ふおれすと鉱山までの道路は除雪が入るので、休館日以外はいつでもオープンしています。冬も楽しいイベントが盛りだくさんですよ。(は)

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.25

発行：2009年1月

発行所：〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号：0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail：kouzan@npo-momonga.org

URL：http://npo-momonga.org/